

なぜ？

どうしてみつかったの？

いつから？

春季企画展

考古学入門

2005年3月23日(水) ⇒ 6月12日(日)

どんな服を着ていたの？

どうして？

これ何？

何を食べていたの？

いつから？

なぜ？

なんで？

どうやって作ったの？

これ何？

どうして？

どのように使っていたの？

どんなおしゃれをしていたの？

なんで？

いつから？

なんで？

柏原市立歴史資料館

開館時間 9時30分～16時

休館日 月・火曜日と祝日

入館料 無料

大阪府柏原市高井田1598-1

交通

JR大和路線高井田駅より徒歩5分

近鉄大阪線河内国分駅より徒歩15分

TEL

0729-76-3430

考古学入門

考古学という、むずかしそうと思う人もいるかもしれませんが、昔の人たちが残した
ものから、その人たちがどんな生活をしていたのか、などを考える学問だといえ、親し
みもわいてくるでしょう。

まだ土器を知らず、獲物を追い求める生活をしていた旧石器時代から、土器を使う縄文
時代になったのは、今から12,000年前とも15,000年前ともいわれています。縄文時代にな
ると、土器や弓矢が使われるようになり、植物の採集、狩り、魚や貝なども食べるよう
になり、同じところに長く住み続けるようになりました。やがて、朝鮮半島から水田による
稲作りの技術が伝わり、弥生時代が始まります。そして、いくつかのムラが集まってク
ニとなり、さらに大きなまとまりとなって、日本各地に同じようなお墓として古墳
(前方後円墳)が造られるようになります。この時代を古墳時代とよんでいます。その後、
飛鳥時代、奈良時代と、日本は少しずつ国として整備されていきました。

今回の企画展では、縄文時代から古墳時代、約12,000年前から1,400年前の人々の生活に
ついて考えてみたいと思います。生活について考えるときにも、さまざまな材料がありま
すが、そのすべてを扱うことはできないので、ここでは、衣服、アクセサリー、食べ物、
道具について紹介しています。それらの実物や復元品、材料などを展示し、やさしい説明
を加えることで、少しでもその当時の人々の生活について実感していただきたいと思いま
す。もちろん、触れることができるものも用意しました。どうぞ、考古学の世界に足を踏
み入れてみてください。

年代	時代	おもなできごと	柏原のできごと
紀元前 10000年	旧石器時代	獲物を求めて移動する生活	玉手山丘陵・東山山麓から旧石器出土
	縄文時代	土器・弓矢の使用 狩猟・採集の定住生活 河内に海が広がる	大県遺跡から縄文時代早期の土器出土 大県遺跡周辺に縄文時代のムラ 船橋遺跡に縄文時代のムラ 船橋式土器（縄文時代晩期）
500年	弥生時代	水田稲作の開始 金属器（青銅・鉄）の使用	船橋遺跡に弥生時代のムラや墓 高尾山から多鈕細文鏡出土 東山山麓に弥生時代のムラ
紀元後		戦争がくりかえされた？ 邪馬台国	高尾山・玉手山に高地性集落
250年	古墳時代	前方後円墳の出現 巨大前方後円墳が造られる 倭の五王、宋に使者を送る 横穴式石室広まる 群集墳が盛んに造られる	玉手山古墳群・松岳山古墳群 （古市古墳群・百舌鳥古墳群） 大県遺跡で鉄製品の生産がはじまる 高井田山古墳 平尾山古墳群、高井田横穴群
600年	飛鳥時代	古墳があまり造られなくなる	船橋廃寺などの古代寺院跡